

「音読」で 身に付く英語力

指導の目的に合わせた音読指導の
バリエーション **30**

すぐに使える
30種類の実践例!

- 音読指導について
- Repeating 5パターン
- Back-up Repeating
- Individual Reading 2パターン
- Buzz Reading
- Timed Reading 2パターン
- 音読リレー 3パターン
- Pair Reading 2パターン
- Overlapping 2パターン
- Read and look up and say 3パターン
- Read and look up and pause and say
- Shadowing 5パターン
- 虫食い音読 2パターン
- 英訳音読 2パターン
- Recitation 2パターン

阿野幸一先生が分りやすく教える、
音読指導のコツ!



商品番号 **E99-S**
全1巻 8,000円+税(送料別)

85
min

このDVDでは、指導の目的に合わせた音読指導のバリエーションを、阿野幸一先生の分りやすい解説とともに紹介しています。

生徒にどのような力をつけさせたいかによって
効果的な方法は異なる!

英語の学習で音読が大切であることは認識されているため、多くの英語の授業で音読指導が行われています。しかし、教師のモデルを聞いて繰り返すリピート練習を、「一度だけ行って終わり」という例も多く見られます。

「1つ1つの単語の発音を確認させたい」のか「文全体のリズムやイントネーションに注意を向けさせたい」のかによって、リピートの際のポーズの取り方が異なります。また、「生徒自身の内容理解を深めるための音読か」それとも「聞き手にわかりやすく伝えるために文章を音声化するのか」によって、表現のさせ方が異なりますし、「英文の暗唱が目的か」あるいは「文法の運用能力を身につけさせることが目的か」によって、使用するハンドアウトの形式を変えなければなりません。

さらに、「生徒が練習する回数を確保したい」のか、「全員の生徒の発音を教師がチェックしたい」のかで、クラスで一斉に練習をさせるのか、発表形式を取り入れるのかも変わります。

解説・監修

阿野 幸一

文教大学国際学部国際理解学科教授、
同大学院国際学研究所教授

専門は英語教育(主に中学校・高等学校での指導方法)、応用言語学。2008年度よりNHKラジオ講座「基礎英語3」の講師を5年間、2013年度より同「基礎英語2」の講師を担当。

主な著書に、文部科学省検定高校教科書「All Aboard! Communication English I・II・III」(共著・東京書籍)、「日々の英語授業にひと工夫」(共著・大修館書店)、「みんなの楽しい英文法～「スタンプ例文」でわかる英語の基本」(NHK出版)など多数。

授業者: 安藤 勇輝 (早稲田中・高等学校)

豊嶋 正貴 (文教大学付属中学高等学校)

使用教材: NEW HORIZON English Course Book 3 Unit 3 (東京書籍)